2022年7月13日付 下野新聞より



9回、幸福・清家の2点適時二塁打で大島(右)がサヨナラのホームイン=県営、柴田大輔撮影

エース4安打3打点

〇…九回裏、サヨ ナラの打球が左中間 で弾む。幸福の科学 学園の勝利を決めた のは、エースで主砲 の清家 駿太朗だっ た。

マウンドでは8四 球と大苦戦。大会直 前の練習試合で熱中 症となった影響で本 調子とはほど遠かっ たが、カーブなどを 駆使しかわした。毎 回走者を背負い、足 をつりながら何とか 気迫で切り抜けた。

味方の好守にも救 われ「迷惑かけたの に、みんなが『大丈 夫か』って声をかけ てくれて…」と感極 まった背番号1。感 謝の思いはパットに 乗せ、4安打3打点 の大暴れ。「自分が 決めるつもりだっ た」と大黒柱の責任 を全うした。

劇 無念

⊕ ∨

54 た幸福の科学学園が迎転 サヨナラ勝ちを収めた。 ・ 幸福は1点を辿う九 り、1元、一塁から清 家が左中間を破る2点適 時一塁打を放った。守っ

人が清家を無失策のパックが支えた。クが支えた。今市工は九回の失策と何四球が痛かった。高勝魁ったの3長打を含む11安打っを放つなど打力の高さはったができない。

【今工】 ⑤6.3 薬藤製

清 家 9 45114

無失策。年下の同級生工 大をしっかりと支えた。 今春から幸福の科学字園 に編入した和美智貴は、2 年生だが8歳。高野連の定 おる年齢規定で、この大会 が「最後の夏」だ。 北海道出身。小学生時代 北海道出身。小学生時代 北海道出身。小学生時代

回以上、トイレにこもる。 たが和美にはハンディが たが和美にはハンディが だが和美にはハンディが だが和美にはハンディが 3年間を、送るはずが だが和美にはハン た潰瘍性大腸炎。 体 間 ح

出

会え

た

П

り

、 性質は2年生でベンチ入り が したが大会期間中に入院 と、出場はかなわなかった。 体調の波は激しく、食事 を調の波は激しく、食事

奥底から湧き上がる「

この日は劇的な逆転勝ち。サヨナラ打の清家戦ち。サヨナラ打の清家戦力を引退させる訳にはいかない」。その横で、和美は涙をこらえ切れなかった。

れた。学校にも顔を出さないが」。昨秋、 はいんじゃないか」。昨秋、 ほ子を決めた。 を トたちは積極的に話しかけ に丁寧に呼ばを教えるうち に丁寧に呼ばを教えるうち を思い出した。

2度目の高校2年生。か た。回り道も無駄ではなか ったと、今では胸を張って

幸福·和美遊擊手



軽快な動きで内野ゴロをさばき、ベンチに引き 上げる幸福の和美(左)=県営

を追う日々」への掲望。親戚 を追う日々」への掲望。親戚 を追う日々」への掲望。親戚 「シャイだから」新しい 環境になじめるか不安だっ た。だが年下のチームメー